

松江市 報道提供資料

令和 8 年 1 月 26 日

件名

消防長表彰（人命救助活動貢献）について

内容

松江市消防表彰規程に基づき、救助活動に貢献された市民の方に消防長表彰として感謝状を授与します。

- 1 日 時 令和 8 年 2 月 6 日（金） 9 時 30 分～10 時 00 分
- 2 場 所 松江市消防本部 5 階 大会議室
- 3 対象者 人命救助活動貢献【1 事案 3 名】
- 4 功 績 別添資料のとおり

【問い合わせ】

消防本部 消防総務課 担当： 西田 新田 太田 電話： 0852-32-9111

令和 7 年度 消防長表彰実施内容

人命救助に貢献され、松江市消防表彰規程第 2 条第 5 号に該当する消防長表彰対象者に対して表彰を行い、その功績をたたえるもの。

1 実施日時 令和 8 年 2 月 6 日（金） 9 時 30 分～10 時 00 分

2 場 所 松江市消防本部 5 階 大会議室

3 内 容

- ・消防長表彰（感謝状）授与
- ・消防長 お礼のことば
- ・記念撮影

4 被表彰者【1 事案 3 名】 人命救助貢献

- | | |
|------------------|-----------|
| ① 仲田 英生（なかだ ひでお） | 30 歳代 会社員 |
| ② 仲田 裕美（なかだ ゆみ） | 40 歳代 会社員 |
| ③ 細田 光夫（ほそだ みつお） | 50 歳代 会社員 |

※上記 3 名とも傷病者の友人

5 功 績

令和 7 年 8 月 16 日（土）に友人 4 名で釣りをしていた。ふと気がつくと要救助者の姿が見えなくなっており仲田英生氏、仲田裕美氏及び細田氏で周囲を探してみると、自家用車内で意識のない要救助者を仲田英生氏が発見した。

仲田英生氏は直ちに救急要請を行い、同時に胸骨圧迫を開始した。救急隊到着までの間、仲田英生氏は胸骨圧迫を継続して行い、要救助者を車外へ救出した。その間、細田氏は絶え間なく声がけを行い、仲田裕美氏は映像通報システムにより現場の状況を通信指令課及び出動隊へ共有した。

その後、仲田英生氏は救急車へ同乗し、情報の確認及びご家族に連絡等を行った。

本事案は、友人による適切かつ迅速な発見、通報及び胸骨圧迫が行われたことにより、要救助者は大きな障害を残すことなく社会復帰できたと考える。救助者の迅速な対応がなければ、要救助者の状態は重篤化していた可能性が高く、一連の行動は誠に顕著であり表彰に値するものである。

6 消防本部出席者

井ノ下消防長、足立次長、岡田次長、西田北署長、塩田分署長